

太田東西かわら版 2011.6

関東ぐる～り 激励の旅



5月22日から4日間、関東に出掛けてまいりました。
東京 山梨 長野 群馬 栃木 埼玉 東京、ぐるり左回りの旅。

かなりハードな移動でしたが、とても有意義でした。
なんととっても
大女優、吉永小百合さんと善光寺で一緒しましたからね（笑）

（ホントだ！と、びっくりされた方、ほんとうに純粹無垢なんですね～）

信州でも、常識を破る

関東旅行の一番の目的は、大学時代の後輩の結婚式出席のためでした。

もちろん「後輩」ですから、20代ではなく40代。

毎年の年賀状は、相も変わらず自身一人の名前のみ。

正直、「彼はこのまま独り者か...」と思いきや、電撃結婚！

何事も、焦っては、他人と比べてはいけませんね。

結婚にも、それぞれの「ペース」があるようです。

(未婚の30・40代のお子さんをお持ちの親御さん、よろしいですね?)

彼とは20年ぶりの再会。出席にあたってはスピーチを頼まれました。

何を話そうかな?と、松本へ向かう電車(あずさ号)の中で考えていましたら

「夫」という字が浮かんできました。

そして本番...(以下トーク内容)

金ちゃん(新郎のあだ名) 君は晴れて今日から「夫」になりました。

「夫」をいう字をよく見てみよう。

「二」を書いて、「人」と書くよね。

夫とは「二つの事ができる人」なんです。

じゃあ、二つって何か?と云えば

「仕事」と「家庭」ですよ!

そう、夫というのは、仕事と家庭の両立、

二つのことが出来る人のことなんだよ!

家庭を顧みず会社の社長に出世しても

それは夫とは言わないよ。

奥さんを大切にしながら仕事に頑張る男が、正真正銘の「夫」なんだ~!!

(さらに調子に乗って...)

私は薬剤師ですが、夫婦円満コンサルタントでもあります。

会場の中で夫婦関係に支障をきたしている方、離婚をお考えの方がいましたら

本日は特別に無料でご相談を承りますので、後ほど遠慮なく私に声をかけて

くださ~い!(会場は大爆笑)



長崎から信州に乗り込んだ、常識破りの太田東西。

結婚式では禁句の「離婚」という言葉を発し、後日新郎に詫びを入れたら

「それが太田さんらしさじゃないですか! 嫁もとっても喜んでいましたよ」

と言ってくれました(涙)

上州でも、偲び思いやる

長野新幹線を乗り継いで、次に向かった先は群馬県。
同じく相談薬局に従事されているMさまの元に...

6年ぶりの再会。

太田東西の健康観に共感してくださっているMさんは
『麻亜耶マーヤ』での女人救済に励まれています。
とっても上品で謙虚な方です。



相談を受ける立場の人は、自らの相談はしないもの。
それを世間では「プライド」とか「見栄」とか呼びます。
ですから大先生、大家と呼ばれる有名な偉い人ほど、そのご家庭はバラバラで
病気がちということも多いですね。

ある時、Mさんはご自分の家族の悩みを打ち明けてくださいました。
そして行き着いた先には「嫁姑」問題がありました。
Mさんの姑さんはすでに亡くなられていましたが、最期まで嫁であるMさんを
認めてくれなかったそうです。

なぜか？

それは姑さんの「生い立ち」にあると感じました。
生後まもなく実母を亡くす。実父は再婚し、腹違いの兄弟ができるが、継母に
なじめず、小学生の時、一人家を出て伯母さんの元へ。
その後、和裁業の知人宅に住み込みで働く。結婚後、3人の子供をもうけるが
子供2人をいずれも1歳で亡くすという悲劇に見舞われる...。
元気に育った子供1人。それがMさんのご主人でした。

Mさんには「なぜ私に辛く当たったのだろう？」と相手の立場になって考える
母性がありました。

姑さんは、きっと

愛情を受けた経験が少なかったから、愛情を与えることができなかつたんだ...。
意地と根性で人を頼らずに生きてきたから、人にやさしくなれなかつたんだ...。

私はMさん宅の仏壇に線香をあげ、合掌しながら

「頑張って生き抜いた素晴らしい人生でしたね。お嫁さんにやさしくしようと
思っても、それができなかつた、あなたのその気持ち、私にはわかります」と
姑さんを偲び、持参した麻亜耶をお供えしました。

お姑さんのたましいが、麻亜耶の母性に温かく包まれることを願って.....。

「人間漢方」となって、たま～に飛び出します...お許しを

休む時は、休む！

割り切りなさい！ 開き直って！

真面目なお客様に向けて、よくアドバイスさせていただくフレーズですが
実は何を隠そう太田東西も、休むのが不得手なんですよね～。

やっぱり気になってしまいうんですよ、仕事が。

臨時休業を知らないで来局されたお客様がいるかも...、申し訳ないな...と。

今回の上京中も、休業と知らずにお越しになられた方がいらっしやいました。

いただいたお手紙の冒頭に

「24日伺いましたがお休みでした」とあり、お怒りの声かと恐縮して読ませて
もらったところ、逆に「割り切って休む勇気」をいただきました（涙）

今後も「人間漢方」となって、飛び出すことをご了承ください。m(uu)m

24日 伺いましたか。
お休みでした。

先生のご指導。そしてマップは、
都念の方々に 手に 必要と
されていると思います。

私は インターネットを できませんか。
販売は、そのやり方で、できると思いますか。
やはり 私は思うに、先生 そのもの（失礼かも）
が 漢方薬下と思うので。

短期間でも、講演でも 会場でも
都念に 行って 助けをあげて欲しいと
思います。

私のように、自分に自信が持てない
自分と向き合えない、そんな女性
たちや 偉大な考の方、王様を以
ゆけるように～ すみせん、又近いうち
伺います